

●チャレコミギャザリング2020秋 分科会●
第1ターム（11:00～12:20）

| 分科会① | 分科会② | 分科会③ | VBM |
|--|---|--|---|
| タイトル | タイトル | タイトル | 対象団体 |
| 地域での起業を支えるエコシステムづくり～ローカルベンチャー5年で見えてきた可能性と今後 | 集落コーディネーター育成版 コーディネーター評価指標を考える | 中高生が全国へ探究の冒険にできるオンライン教育プログラム innovationGO ローカルパートナー募集 | NPOエリア・イノベーション |
| 発案者 | 発案者 | 発案者 | 発案者 |
| ETIC./山内 | 株式会社御祓川/森山奈美氏、圓山晃穂氏 | ETIC/.岡村 | 藤井氏 |
| コンテンツ紹介 | コンテンツ紹介 | コンテンツ紹介 | メンター |
| ローカルベンチャー協議会のこれまでのあゆみと、第二期に向けた戦略を共有しつつ、どのように地域での企業を目指す若者たちを支えるエコシステムを作っていくかについて皆さんと議論したいと思っています。 | GSプログラムで作られたインターンCDの育成ツール「CD評価指標」をたたき台にして作った、集落CD版です。地域おこし協力隊や集落インターンの受入先など、集落/地域を巻き込みながら、事業を展開していこうとしている人(=集落CD)の育成を想定。能登では、実際に集落での事業を試みている方を対象に、育成プログラムをモニター実施中。しかし、まだまだブラッシュアップの余地があるはずなので、皆さんの感覚・ご意見を交えながらブラッシュアップをします。また、能登と一緒に、実際にこの評価指標を使ってモニタリングをしてみたい地域も募集します！ | 以前、ギャザリングで、高校生が全国に学びの旅に出るイノ旅を紹介いただきました、一般社団法人i.clubをお迎えします。今回は、この秋にスタートするオンラインで全国を冒険する、innovationGOの取り組みについて紹介します。innovationGOのローカルパートナーを集すると同時に、innovationGOのプラットフォームを使った、各地域、地域の事業者、全国の中高生との新しい学の未来を議論します。 | NPO法人北海道エンブリッジ 浜中裕之氏 ETIC. 宮城治男、鈴木敦子 |

●チャレコミギャザリング2020秋 分科会●
第2ターム（13:30～14:50）

| 分科会④ | 分科会⑤ | 分科会⑥ | 分科会⑦ |
|--|---|---|--|
| タイトル | タイトル | タイトル | タイトル |
| 「チャレコミ×タイミー」の協働事業を考える、地域の観光・農業等における繁忙期の担い手確保の現状と今後の展開 | 実践型インターンの位置付けとサービスライン検討会～ 複業・兼業や採用支援の事例より～ | 学生・社会・地域がつながるオンラインキャンパス「つなキャン」の未来を考える | ブロックごとの「日本全国！チャレコミ化」に向けた事例紹介と作戦会議 |
| 発案者 | 発案者 | 発案者 | 発案者 |
| 株式会社タイミー/葛西 伸也氏 ETIC./伊藤淳司 | 株式会社パソナ東北創生/城守理佳子氏 | NPO法人G-net/南田修司氏 | NPO法人北海道エンブリッジ/浜中裕之氏 |
| コンテンツ紹介 | コンテンツ紹介 | コンテンツ紹介 | コンテンツ紹介 |
| 株式会社タイミー タイミートラベル事業責任者・葛西伸也氏をお迎えして、タイミートラベルの取り組み状況をお聞きします。その後、参加者からも自地域の状況等を共有してもらいながらどのようなタイプの人材が必要か。またそうした人材を地域のファンにしていくためにコーディネーターとして何ができるのかをディスカッションします。 | 当社が、今後釜石でまちの人事部やHRMOとして動いていくにあたって、現在コーディネートをしている実践型インターン（復興創生インターン）の位置付けや、現在実施している複業・兼業や採用支援の事例を紐付けながらのサービスラインの検討などをテーマに分科会を行いたいです。 | コロナ禍で、学校に行けなくなった学生たち。オンラインで社会・学生・地域をつなぐ取り組みを4月から進めてきました。現在、大学生・社会人合わせて、300人が所属するプラットフォームになっています。つなキャンを通してこれまで生まれたもの・見えたきたことを共有し、長期化するコロナ禍で、オンラインキャンパス・オフラインの各地域の繋がりを利用した社会・大学生・地域の未来を議論します。 | 日本全国にチャレンジコミュニティを広げて行くために、ブロックごとでの個々の活動も重要となっていきます。現在、北海道ブロックで実際にチャレコミ化に向けて行っている事例の共有をしつつ、実際に全国での動きとしても推進していくために情報提供やディスカッションを行いたいと思います。 |